

これから体育協会、スポーツ協会になるかと思いますが、指定管理、それから体育の振興等、地域総合スポーツ関係の団体も含めて、さまざまな運営等、問題が出てくるかと思いますが、きょうの教育長のお話をお聞きしていますと大変心強いなというふうに思ったわけであり、その辺の課題もいろいろあると思うんですが、その辺について、教育長はどのような意気込みで取り組んでいきたいか、最後にお聞きしたいと思います。よろしくお願いします。

○平 進介議長 土屋正人教育長。

○土屋正人教育長 今お話ありましたように、私もここに来て間がないですけれども、いろんな課題もあるというふうに思います。ただ、この一番の眼目というのは、やはり行政任せではなくて、それぞれ自分の力で運営していき、自己実現を図るといふようなことがあると思いますから、そのところだけは外さないで進めていかなければならないなというふうに思います。今のところ、私のほうではそのように考えているところです。

○平 進介議長 6番、金子豊美議員。

○6番 金子豊美議員 ぜひ行政でやれるものは行政でやっていただくのは当然だと思いますし、各団体、それぞれ得意な分野を生かしながら、また、コミセンとか、そういったいろんな部分も連携しながら、今後、教育の振興に努めていただければというふうに思ったところであります。

私の質問、これで終了いたします。どうもありがとうございました。

### 内谷邦彦議員の質問

○平 進介議長 次に、順位4番、議席番号8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 政新長井の内谷邦彦です。

今後の本市の重要な施策である観光振興事業について、今後の方向性、観光誘客の取り組みについて伺います。

最初に、産業参事に伺います。

長井市第五次総合計画にかかわる実施計画2019から2021の中の観光振興事業、活動指標、観光客数について、平成34年度の目標値が120万となっており、2019年度は117万人、2020年度118万人、2021年度119万人となっていますが、昨年配布された2018から2020の実施計画では、平成34年度の目標値が80万人となっており、ことし発行された実施計画の目標値が昨年の目標値に比べいきなり40万ふえておりますが、なぜこのようになったのかを教えてください。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 ご指摘いただいた点につきましては、長井市が総合計画、毎年見直ししておりますけれども、昨年配布された2017年度と、ことし配布しました2018年度をごらんいただいたものというふうに思われます。この2017年の80万人というものにつきましては、年間観光客数を県が指定します集計地点の合計としておりまして、その合計値、実際には実績値ですけれども、60万台の前半ということでしたので、平成25年度に策定しました観光振興計画に掲載しています10年後の目標値というのが、そのときに20万人増というのがございました。それに合わせまして、途中年度の年次の目標として10数万人ほどの努力目標を計上しまして、80万人という形にさせていただきました。

そして、今年度、2018年度につきましては、総合計画の後期計画の5年計画が策定されましたので、その中で、新たに新年度の目標につきまして、実績をもとに現実的な見直しを行いましたということでございます。具体的には、2017年度の実績、観光交流センター、道の駅でございますけれども、来客数を比べますと115万

人ということになりましたので、観光局での集客も見越しまして、120万人というような目標値にさせていただいたということでございます。以上でございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 今のお話ですと、観光交流センターの年間来館者数が40万となっているので、この数字をプラスしたということですが、観光交流センターに来る来館者の全てを観光客と見るのは問題ではないかと思うんですけども、その辺はどのように考えますか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 基本的には観光という形で、今までアルカディア観光局とか、いろいろな団体等々も勘案しまして、この数字という形にさせていただいております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 観光というのは、近年は娯楽や保養のため、余暇時間に日常生活圏を離れて行うスポーツ、学習、交流、遊覧などの多様な活動をいうと。また、観光庁などの統計では、余暇、レクリエーション、業務などの目的を問わず、1年を超えない非日常圏への旅行を観光とするとあります。この観光交流の来館者の全てがこの要項に当てはまるとはちょっと思えません。当然、私も何回かこの観光交流センターの件に関しては、人数に関しては何度か質問させていただいてますけども、観光交流センターに来て、レンタル自転車を借りたとか、どこがいいですかとかいって行かれた方は観光客だと思いますけども、ただトイレ休憩に寄られた方、道の駅に農産物をただ買いに来られた方、そういった方も全てカウントしてしまうと、できる限り実測値を求めて、根拠のある数字によって今後の方向性や方針などを検討しないと十分な対応ができないと思いますけども、その辺に関してはどのように考えますか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 先ほど2017年度の数字、80万人という形で答弁させていただきましたが、ここで県のほうで観光客数というものを把握するのに地点を指定されてますので、その地点を全て観光客という形でここでは集計させていただいております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 何かよくわからないいんでもっとわかるように説明して、地点を見て、その数字を観光客数として見たという形なんですか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 商工観光課長から答弁させていただきたいと思います。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 ただいまの件につきまして、観光客数というものにつきましては、その実態については、これ、非常に集計しづらいものでありまして、そういったことから、山形県のほうでは、県内の各市町村のカウントする地点を定めております。その合計値を山形県のほうでは県内の観光客数として観光庁のほうに発表してるというふうなことになります。

やり方としては非常に問題があるのかもしれませんが、数の把握というのは非常に困難なことですので、そのまんま入り込みの客数をカウントしてるっていうような、そういった、観光客数というのはそういう状況になっております。以上でございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 観光客数についてはわかりましたけども、実測数をはかるのは非常に大変かもしれませんが、やはり減ったふえたという部分に関して言うとその数字が非常に大事になってくると思いますので、できる限りポイントをしっかり定め、逆にその数字を教えてくださいたいぐらいなんですけども、そういった形でぜひ今後とも数字をきちっと把握してい

ただければと思います。

次に、長井おどりに関して、産業参事に伺います。

ことしも盛大に開催されましたけども、毎年少しずつ中身が変わっております。今後、長井おどりをどのように発展させようとしているのか、そのためにさまざまなテストを行っているのはわかりますけども、ただ、思いつきのような運営では参加人員がますます少なくなっていくのではないかと思いますけども、産業参事の考えを教えてください。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 長井おどりパレードにつきましては、ことし10回目の記念行事という形で実施されております。毎年、実行委員会という組織を設置しまして、観光協会が主体となるわけですけども、自主的に創意工夫をして参加者をふやし、市民が盛り上がるイベントとなるよう努力していただいているのかというふうに思っております。長井市といたしましても、このような大規模な催しが中心市街地で開催されることは、まちの活性化につながるということで非常にいい影響があるのではないかとこのように思っております。今後は、夏のイベントとしてもっと知名度が上がりまして、市外からも参加者が来るように期待したいところでございます。

また、来年度につきましては、オリパラというような年になっております。そういう意味もございまして、パレードの実行委員会には従来とは違う取り組みも考えていただきたいというふうに思っております。長井市も、この中で、実行委員の中に入っておりますので、一緒になって考えていきたいなというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 今まで参加させていただ

いて感じたんですけども、市民の方々が喜んでもらえばそれでよしと考えるのか、市民以外の方々も呼び込んで、それで盛り上がるように考えるのかによって運営は変わると思っています。現在の参加者を見ますと、町内以外では各地区のコミュニティセンター、地区公民館が主となって参加されてまして、個人での参加が非常に少ないと思いますけども、個人の参加に関してはどのようにやっていこうというような気持ちがございますか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 この案件につきましても、商工観光課長から答弁させていただきたいと思っております。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 ただいま、個人の参加というふうなご質問でございましたけども、実際には数年前から飛び入り参加のスペースっていうものを設けておりまして、例えば、数年前ですと、プロレスの皆さんが踊ったりというような場面がございました。数としては年々ふえてるかっていうと横ばい状態なんですけども、市外の方もそうやって踊る機会をつくろうというふうに行き届くという状況でございます。これ、10年間継続してきまして、市民のほうにも定着してきておりますので、その先はやはり市外から来る方にもぜひ踊ってもらえるようにというふうな考えは持っているようでございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ぜひ市外の方々も参加できるような形でスペースをあけていただいて、やっぱりどんどん飛び込みで、逆に引っ張り込めれば一番いいんでしょうけども、なかなかそういうことにもいかないので、そういった形でぜひ今後とも人数を多くするような手だてを進めていただきたいと思っております。

次に、地域づくり推進課長に伺います。

先日、水陸両用バスでの長井ダム百秋湖遊覧に乗車させていただきましたけども、乗車された方々からのご意見はどのようなことが上がっているのか、皆さんは満足されているのかを伺います。

○平 進介議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 今年度の水陸バス運行事業につきましては、5月31日から8月の5日まで、金土日など32日間運行いたしました。合計3,700人の方にご乗車いただきました。住所別に見ますと、市内からは24%、市外で県内からは59%、県外からは17%ということで、うち台湾からも14名ほど乗っていただきました。そうした中で、市外から多くのお客様を迎えることができましたので、長井ダム周辺の活性化、そして地域の観光振興に大きく貢献できたものと感じております。

乗車されました方からの意見につきましては、乗り終えたときに実施いたしましたアンケートによりお答えさせていただきます。

アンケートの回答率につきましては89%ございまして、大きな項目なんですけども、水陸バスは観光資源になるかと、あと、改善すべき点があるかっていう選択の中で、96%の方が観光資源になると声をいただいているところでございます。その中では、着水の瞬間が一番よかったという意見が多くございました。あと、改善すべき点があるについては4%ございましたけども、この中では、料金設定について改善すべきとの意見が目立ったところでございましたけども、それでも全体の1.6%という状況でございました。そうしたことから、乗車いただきましたお客様には十分満足いただけたものと感じているところでございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 それで、乗車された方から苦言とか何とか、そういったことを今の料金以外で言われたことはあったのか、そういっ

た意見は今後どのように反映されるのか、わかれば教えてください。

○平 進介議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 今回の事業の運営につきましては、実施主体が長井市で、市からの委託で、水陸バスの運行につきましては日本水陸両用車協会、そして赤湯観光バスに委託しました。あと、受け付け業務等につきましては、やまがたアルカディア観光局のほうにお願いいたしまして、この運営側での特に苦言等はいただいている状況でございます。

ただ、8月9日から25日までの間だったんですけども、予定していました運行につきまして、ダムの水位の低下によりまして運行中止となりました。中止と判断した時点では既に1,000名を超える方から予約を受け付けしておりましたけども、全てキャンセルとなったわけですが、キャンセルについて特に苦言等はございませんでしたが、夏休みの親子連れなど、乗車を楽しみにしていた皆さんの期待に応えられず、非常に残念な思いでございます。そうした中で、来年度以降になりますけども、例年の長井ダムの水位状況を確認しながら、来年度の事業の運行時期のほうを見直しながら対応していきたいと考えております。

また、今後、何らかの苦言等、ご意見等をいただいた場合につきましては、速やかに関係者のほうと検討しながら、来年度以降の水陸バス運行について反映させていきたいと思っております。以上でございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 私の個人的な感想なんですけども、道の駅で乗車して、市内を走って、ダム湖に入り、そのままダム湖を周遊して市内を走り、道の駅に戻るという順路になって、見せ場としてはダム湖に勢いよく入っていくところになるわけなんですけども、やっぱりそれだけではもったいないと思うんですけども、その辺

はどのように、それしかないと思ってるのか教えてください。

○平 進介議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 アンケート結果につきましては、着水が最大の魅力ということ、全体の54%でございました。そのほか、ダム景色や水上走行で魅力を感じた方につきましては全体の38%ございましたので、水上運行につきましても魅力が十分あると感じております。

また、市外のお客様が非常に多かったことありますので、ガイドの中でまちの紹介であったり、長井市のPR、そういったところを含めながら、あと、陸上での観光案内も含めた形で今後検討してまいりたいと思います。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 毎年運行する時期がどんどん暑くなってきておりますので、清涼感や山の中の静けさを感じられる仕組みはつくれないでしょうか。個人的な提案とはなるんですけども、乗車している間は車のエンジンと船のエンジンがずっとつきっ放しなんですよね。そうすると、静けさっていうのは一切ないですよ。戸、全部あいてますので、本来、まさかエンジンとめて、またかからないってことはないと思いますので、山の中、ダムに行ったら木陰にエンジンをとめて、山の空気であったり、鳥の声であったり、そういったものを感じられる空間をつくるか、ダム湖に入っても同様に日陰、木陰に入って、とめて、水の音であったり、鳥の声であったり、市外の方であったり、県外の方であったり、日常、音があふれてるところからいらっしゃる方っていうのが、我々も実際そうなんですよけども、やっぱり無音、要するに自然の音しか聞こえない状況っていうのはなかなかないと思うんですよ、個人的には。だから、そういった状況をぜひつくっていただけないかなと思うんですけど、その辺はどうでしょうか。

○平 進介議長 新野弘明地域づくり推進課長。

○新野弘明地域づくり推進課長 今、議員のほうから提案いただきました内容につきましては、運行会社、委託してます日本水力両用車協会、JAVOのほうと協議しながら、走行中にエンジンとめてできるかどうかっていうのはちょっとわからないんですけども、車両の特性上、なかなか静かに走行するのは難しいかなっていうことありましたけども、検討したいと思います。

あと、秋になりますけども、今度、ダム湖使って遊覧船しますんで、そういった楽しみは遊覧船のほうで魅力を感じていただけるかなと思ってると思います。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ぜひ検討していただければと思います。

あと、次に、観光振興事業、長井観光協会事業について、商工観光課長に伺います。

置賜さくら回廊から始まり、つつじまつり、あやめまつり、水まつりなど、季節に合わせて展開しており、観光協会の総会資料によると、観光客数について記載されております。つつじまつり期間中に、つつじ公園内、売店が出てますけども、その売店の方々っていうのは利益出ているものなのかどうか確認したことはあるんでしょうか、教えてください。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 お答えいたします。

白つつじまつり期間中に、まず、白つつじ館のほうで、観光協会が直接、売店のほうの経営をしております。これの目的は、売り上げを上げることもそうなんですけども、主にお客様の休憩場所の提供、湯茶接待なども行っているというようなこと、それから物産販売を、これ、委託販売なんですけど、させていただいております。長井の物産をご紹介するというふうな目的もあります。そのほか、観光客の方々がさまざまなことをお問い合わせ来ますので、そういっ

た対応のために白つつじ館をあけて、売店の経営をしているというふうなことになっております。

こちらの売店の売り上げについては、毎年、観光協会の総会資料のほうに載せておまして、大体、例年35万円ぐらいから50万円ぐらいというふうになっております。もちろん祭りの経費はその収益だけでも動かせませんので、長井市からの委託料と合わせて合計85万円から90万円ぐらいの予算規模で毎年つつじまつりを運営しているという状況になっております。

ご質問は、例えば露天商の方とかっていうふうな部分だと思いますが、こちらについては、都市公園で定めている使用料を頂戴して、出店していただいているわけですが、売り上げについては確認しておりません。ただ、言えることは、毎年出店していただけるので、赤字ではないなというふうには思っております。露店の方にお伺いしますと、平日は見込めないんですけども、土日と、一番大きいのがやはり黒獅子まつりがありますので、毎年出店できてるというふうなお話でございました。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 あと、黒獅子まつり期間中、売店に関して、1区画、1軒1軒で1万円としますけども、こちらのほうの出店している店舗も利益を上げているということで考えてよろしいんでしょうかね。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 おっしゃるとおり、黒獅子まつりの開催日に限りまして、こちら、観光協会のほうで臨時店舗のほうを取りまとめて、出店料をいただきながら運営しております。出店数、大体17店舗、中には地場食品組合のように組合で1店舗設けてるところもありますけども、お店の数でいうとやっぱり20軒ぐらい出てるのかなというふうに思ってます。毎年、新たに新店したいという問い合わせを観光協会のほう

うではいただいているようですので、やはりちょっと人気があるのかなというふうに思います。そういった意味からいいますと、私も現場で、口頭で出店してる方々とお話ししますと、赤字ってことは今まで聞いたことないので、売り上げは上がってるものというふうに理解しております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 あと、沿道を歩くことになりますけども、沿道の商店については、祭り期間中も商売を行っているのかやめているのか、行っている場合、売り上げ的に上がってるのか、調査を行ったことはあるのかを教えてください。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 こちらも結論的に申しますと、各商店街のお店から売り上げについては調査を行ったことはございません。ただ、私も下積み時代、ずっと沿道を歩いておりましたから、そのときの状況を現場で感じた限りは、各お店も祭りの日は頑張って閉店時間を延ばしたりしていらっしゃると思います。どちらかというところ、やっぱりお店の方は祭りに対しては歓迎ムードが強いのかなというふうなことを感覚として受け取っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 観光誘客事業として観光客に集まってもらうのは非常にありがたいんですけども、実際、黒獅子まつりを見に来られた方々、観光客が何を買っているのか調査されたことはあるのか教えてください。

○平 進介議長 赤間茂樹商工観光課長。

○赤間茂樹商工観光課長 こちらのご質問、大変難しいことではございまして、観光客の皆さんが黒獅子まつりの会場で何を買われているかというのは調査したことはございません。ただ、拝見しておりますと、最近、特に民間の旅行会社の方がバスで黒獅子まつりの、日中、会場に訪れる、立ち寄っていただけるようになりました。

公園内で自由時間を設けていらっしゃるようでして、見ておりますと、やっぱり黒獅子の会場内で飲食物を買い物はしてらっしゃるようです。また、先ほどお話に出ましたけども、白つつじ館のほうの売店のほうにも立ち寄っていただけてるようでして、そちらではお土産を買っているというふうに伺っております。

なお、長井に訪れる観光バスにつきましては、ほとんど道の駅のほうに回っていただいておりますので、主なお土産物については道の駅で購入しているものというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ありがとうございます。

そこで、産業参事に提案なんですけども、黒獅子を長井の観光の大きな柱として育てていくと考えてみてはいかがでしょうかと。箱根駅伝ではないんですが、神社ごとに特徴のある黒獅子のはっぴやタオルをつくり、販売をする。神社ごとのファンクラブをつくり、会員を集め、会員には特典として黒獅子まつりの会場で各神社の獅子と記念撮影ができるなど、さまざまな特典を付与して、特にファンを集めるというふうな形はとれないのでしょうか、教えてください。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 黒獅子舞につきましては、長井市が誇ります1,000年の歴史を持つ伝統芸能でございます。そして、無形文化財ということでありまして、この伝統芸能をイベントとして実施した黒獅子まつりはまさに誇れる地域資源に光を当てた観光資源であり、定着してきているのかなというふうに思っており、もうことしで30年を迎えているということでもあります。これまで市民の皆様や神社、獅子連の皆様のご理解とご努力で、長井市をもう既に代表する祭りに育てていただいたというふうに認識しております。平成29年には、ダイードリンコが主催します日本を代表する祭りにも選ばれて、

全国区になり得るイベントではないのかなというふうに思っております。今後とも、長井市観光の大きな柱として継続して行ってほしいというふうに思っております。

今ご提案がありましたグッズやファンクラブにつきましては、観光協会や観光局を含め、実行委員会の中で戦略を練りまして、各神社とも意見交換をしながら検討していきたいというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 それに付随することなんですけども、各神社の例大祭の期間をホームページ上で案内し、祭りの行程の時間、あとは最寄りの駐車場などを案内すれば、春から秋にかけて、それぞれの地域の祭りに黒獅子のファンが集まり、各地域での祭りが盛り上がり、地域ごとに競争することになれば地域の活性化に役立つのではないかと思いますけども、そういったことは産業参事はどのように考えてらっしゃいますか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 黒獅子まつりが定着しましてから、各神社の例大祭のほうにも行って、黒獅子、獅子舞を見たいという方がふえてきているというふうには伺っております。こうしたニーズに対応するために、観光協会では、ホームページに各神社の例大祭の日程、一覧表を十四、五年前から掲載していただいているようです。また、2016年から観光局を立ち上げ、情報の一元化を図りまして、観光情報を観光ポータルサイトにまとめてまして、現在は長井市の1年間の催し欄に月ごとのイベントを掲載しているようです。

なお、毎年、観光協会販売しております黒獅子カレンダーには、その例大祭の日程も掲載されるというふうになっております。こうした情報をもとに、各神社の獅子舞を見に行く方がふえていっているというふうに聞いております

と。

また、中央地区のコミュニティセンターでは、地区内の神社のお祭りを回るスタンプラリーを4年前ほどから行っているそうで、こうした取り組みを見ますと、黒獅子舞による地域の盛り上がりはできているのかなというふうに感じております。

また、ちょっと先ほど地図というような話もございましたけども、日程だけではなく、地図のほうも掲載されるということでございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 日程とか、一番は行程、いつから、何時から始まって、要するに駐車場がどこにあるか、この辺までやっていかないと、大体、車で来られると思いますので、その辺にとめられると今度、交通渋滞とか、いろんな問題出てきますので、駐車場をやっぱり示して、時間からいうと、何時に始まって、大体何時にはこの辺を通りますとかって、その辺は神社ごとに関ければすぐわかる話ですので、その辺に関してもぜひ進めていただければと思いますし、あと、やまがたアルカディア観光局ですね、そちらのほうにも、そういった各神社の例大祭を回る旅行企画なども考えられると思いますので、その辺もやはりぜひ検討していただきたいと思っておりますけども、その辺はいかがでしょうか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 貴重なご意見ありがとうございます。それを行うに当たっては、やはり各神社のご理解というのも非常に必要なのかなというふうに思っておりますので、そこら辺も含めて検討してまいりたいというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 今言われましたけども、祭りは神事であり、観光イベントではないという考え方もあるようなんですけども、実情どうなっているのかをやっぱり確認するべきだと思います。

す。

あと、地域によって、今後、若者が少なくなり、継承できなくなってしまう可能性、これもゼロではないと思っております。ですから、地域以外の方でも祭りに直接参加できるような体制、そういったものもより身近に黒獅子まつりを感じられることができるのではないかと思いますけども、産業参事はどのように考えられますか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 黒獅子まつりにつきましては、議員がおっしゃいますとおり、神事と観光イベントとのバランスというのは重要なのかなというふうに思っております。30年前に始めたころにつきましては、さまざまな議論がなされたというふうに聞いております。ただ、現在は神事とイベントを分けて考えていただいている神社が多くなっておりまして、ことしも追加でと言ったら変ですけども、新たな神社の方が加わっていただいたというふうに伺っております。

平成22年度に、黒獅子まつりはふるさとイベント大賞を受賞しております。これは、まさに議員からありました、黒獅子まつりを始めようとした当時、ライフスタイルの変化などによりまして、祭りの伝承者、いわゆる獅子連に入る若者が減少し、祭りの存続が危ぶまれる地域もあったと伺っております。黒獅子まつりを開催することによって、多くの方々から称賛され、獅子の舞い手として参加することが目標となり、各神社の獅子舞に参加する方がふえ、さらには地域住民のつながりが強まり、コミュニティー活性化につながったことがこの賞の評価された点だというふうに聞いております。こういうことで、現在は、30年前よりは継承がうまくいっているのではないかなというふうに思っております。

しかしながら、人口減少と都市の若者の流出は防ぐことは難しいということでございますの



で、今後とも検証のための対策は必要であると思っております。黒獅子まつりで太鼓や笛、獅子舞の体験をこれまでも行っていますので、これまで神社にかかわってこなかった方の参加もあわせて促せばというふうに思っております。

ことし私も初めて黒獅子まつりを拝見させていただきました。どの神社も男女を問わず、子供の参加が非常に多くなっているのかなというふうに感じました。こういう場面を見ますと、この黒獅子まつりが各神社にとってよい成果をもたらさせているのではないかということが実感されました。

祭りの参加体制については、実際には個々の獅子連に参加していただくことになるかと思っておりますので、黒獅子まつりに参加する神社をふやし、各神社の祭典が盛り上がることで、結果的に祭りへの参加者もふえてくるのではないかというふうに考えております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ありがとうございます。

また、今回、獅子と一緒に歩く機会があり、気がついたんですけども、沿道やつつじ公園内で、ご信心を受けたくて、せっかく準備し待っているのに受けられない方がおりました。ご信心を受けられる体制をつくる必要があるのではないかと思いますけども、いかがでしょうか。沿道に何か所か場所を設定し、公園内でも桟敷席以外の方が受けられる場所を何か所か設けることはできないのか、産業参事はいかがでしょうか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 今回、ご信心を受けるタイミングについて神社のほうに確認したところ、議員のおっしゃるような、受け方がやはりわからないというような方もいらっしゃるのかなというふうに思っております。ただし、祭りの流れもございまして、実際には各神社の獅子頭役に声をかけていただくしかないというのが結

論のようでございます。

ご信心を受ける場所の設置についてですけども、こちらは観光協会、沿道のときのことですけども、お聞きしたところ、沿道での獅子舞の進行については通過時間を時刻表で管理していることとございまして、各神社の舞の進みぐあいなどが違うため、場所を設定するということにつきましては、スケジュールの進行の妨げになるということで、難しいのではないかとございましてご回答をいただいております。

ただ、やはりご信心という部分では、それを受けたいという方がいらっしゃいますので、そういうものについては比較的受けやすい場所を口頭でお伝えするということとございまして。

また、今後、会場内の桟敷席の外などのほうでご信心を受けられる場所と仕組みができるかも、ちょっと検討していきたいなというふうに考えております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 あと、桟敷席について、オプションとしてプラス2,000円で長井市食の5つ星弁当と地酒がつくとありますけども、今年度の予約状況はどのようになっているかを、産業参事、教えてください。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 桟敷席につきましては、大変人気があるということから、毎年、事前販売をしているところでございます。ことしにつきましては、5月10日から事前販売を開始しております。その時間帯にはもう既に30人ほどが毎年並んでるといような、そういうような状況になっています。10時以降ですね、10時半からについては、電話での受け付けも行ってるそうです。この事前販売と電話の受け付けで、予約については販売当日の午前中に6割から7割が販売完了しております。販売から開始6日程度で全て完売という状況になっており

ます。

次に、栈敷席のオプションとしての販売の5つ星弁当セットの状況ですけれども、今年度については、事前予約が18個、午前中に夜の分のを予約したものが2個ということで、合計で20個の申し込みがあったそうです。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 この20個っていうのは多いんですか、少ないんですか、それがちょっとわからないんで、その辺はいかがでしょうか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 栈敷席につきましては、一応109席、升っていうんですかね、ございます。そういう中で、20というような数字ですので、これはちょっといろいろと判断は分かれるところかなというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 あと、今ですと、午前10時から売り出して、10時半から電話っていう形なんですけれども、これをインターネット予約という形でやられるという考え方はあるのでしょうか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 現在は、先ほどご説明申し上げましたとおり、栈敷券をお渡しするという形ですけれども、観光協会にお聞きしましたところ、やはり遠方からのお客様などの対応も考慮すると、手販売、電話だけではなくて、ネット販売も含めた総合的な販売形態も考えなければならぬというふうに考えているようです。

実施に向けましては、やはりシステムの構築やそのための費用というのにもかかりますので、できればアルカディア観光局とも連携して、ポータルサイト上で予約できるようにすればわかりやすく、便利というふうに思っておりますので、今後の課題とさせていただきたいというふうに思っております。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 相撲の栈敷席では最初から弁当やお土産がついて、それが楽しみで栈敷席から観戦していらっしゃるのを聞いてます。先ほど109升あって、20個しか売れないという部分でもありますので、長井の黒獅子まつりでも最初から栈敷席とセットで弁当や黒獅子の関連商品をお土産としてつけることで、地域の産業振興に多少なりとも貢献できるのではないかと思いますけれども、そういった動きはできないのでしょうか。

○平 進介議長 藁谷 尊産業参事。

○藁谷 尊産業参事 栈敷席を利用するお客様にはそれぞれ観戦のスタイルがあるのかなというふうに思っております。5つ星弁当なども、あくまでもオプション販売としているところです。一方、黒獅子グッズのお土産のほうなんですけれども、今のところ、黒獅子のカレンダーしかございませんけれども、今後のお土産品につきましては、観光局にもお土産の開発チームがございまして、地場産センターなどとも協力しながら検討してもらいたいというふうに考えております。地場産業の発展に貢献できるようなものができればなおよいと思っておりますし、全国に誇れます祭りですので、ぜひ市内で開発し、販売できるような形で、市としましても後押ししていきたいというふうに思っております。こうしたお土産ができたときには、議員がおっしゃるようなセット販売も協会では検討したいというようなことでございました。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ぜひ黒獅子まつりを長井市の観光の大きな柱として育てていって、それが各地域に要するに散らばることで地域も当然潤ってきますので、市内だけではなくて、各地域でお祭りごとに観光客がそちらのほうにも行っていただけるような体制をぜひとっていただければと思います。

次に、市長に伺いたいんですけれども、長井市

の観光振興で不足してる部分が、観光バスで長井市に来たときに、観光客に昼食を提供する施設がないということが大きいんじゃないかと個人的に思ってます。市内観光で個別に昼食をとる方法もあるんでしょうけども、その選択肢がない、そのほかの選択肢がないときに、ほかに移動してしまうことが非常に大きいのではないかと。長井市で団体さんが食事できるような選択肢をふやす必要があると思いますけども、市長の考えはいかがでしょうか。

○平 進介議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

内谷議員おっしゃるように、長井はそもそも観光産業はないまちでございまして、ほかのまちと違って、大きな旅館があったり、団体客専用の、昔でいうドライブインみたいなものはないまちです。最近、あやめ公園のほうも少しお客様も戻ってまいりましたけれども、現在、ことしからはやまがたアルカディア観光局で行っておりますけれども、以前はやまがた長井観光局だったわけですけども、国内旅行会社等への誘客事業、営業活動をいろいろやっております、その中でバス補助事業というのも金額を限らせてやっておりますが、その中で、それぞれの旅行会社との相談によりまして、長井市内で団体での昼食を希望する場合は、数カ所の施設等で受け入れをいただいております。

私どものほうで呼びかけて、観光局ですね、市じゃなくて観光局のほうで呼びかけて、昼食をやっていただいている実績があるのは、タス、はぎ苑、福昌、なごみ庵、中央会館、丸万さんなどでございます。大人数の場合は選択肢が限られますけれども、一番多く受け入れていただけるのはたしかはぎ苑だと思います。大体1台のバスで35人とか40人弱ぐらいで、それが2台、3台で来るっていう場合は、やはりタスとはぎ苑あたりしか受け入れられないということでございます。観光局の会員ということで、今言っ

た6カ所については会員になっていただいておりますんで、会員の皆様のところを紹介するということになります。

昼食について、もう一つの考え方といたしまして、地域連携の中で完結させるという考え方で、特にことしから2市2町で観光局を運営しているわけでございますんで、長井市内で昼食をとらない場合は、市内2カ所ないし3カ所の施設等に立ち寄っていただくということと同時に、隣の飯豊町や白鷹町、南陽市で昼食をセットするという方向で、全て長井だけっていうことじゃなくて、お互い連携しながらやっていると、こういったことで長井市の滞在時間も確保できまして、長井地域としての選択をふやしながら、魅力アップと同時に、地域にお金も落とさせていただける、リピートにつなげることもできるというようなことで、地域一体となった魅力づくりをするべく、アルカディア観光局のほうでは頑張っているようでございます。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 最後に、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けて、長井市におけるインバウンド、外国人観光客の誘致についてはどのように考えているのか、市長の考えをお伺いいたします。

○平 進介議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 議員おっしゃるように、来年は東京オリパラで、東北は一番、日本の中では外国人の観光客が少ない場所というふうに言われておりますが、来年のオリパラについては、東北の復興ということもあって、私ども東北はもちろんですが、国のほうでもいろんな支援をしていただいで、例えばラグビーなどもことし東北でも会場にしてもらったり、あとは、福島で来年のオリパラで競技の会場の一つになったりとか、そういう工夫をしていただいでますんで、ぜひ私ども長井地域2市2町のアルカディア観光局でもさまざまな誘致を行いたいと思ってお

ります。

ただ、現在のところ、個人のお客様は何人かいらっしやってますけども、団体っていうのはほとんどいらっしやっておりません。ここ去年、おとしあたりからの2年の実績、ことしも含めて、実績ですと、台湾とフィリピンとタイですかね、のほうからフラワー長井線と、団体は飯豊の冬のスノーモービル等々でいらしてる程度で、桜のほうを見にいらっしやる方もいたとしても、本当、通過するだけということでございまして、そうじゃなくて、やはり私どもとしては、最低1泊2日、あるいは2泊3日ぐらいで、長井中心とした2市2町を観光商品に組み入れていただくように営業活動を行っております。

その一番の今現在、営業してるのは台湾でございまして、やまがたアルカディア観光局では、ことしから3年間、議会からもご承認いただいて、地方創生の推進交付金を使わせていただいています。ことし台湾にやまがたアルカディア観光局の出張所を設けて、現地の方を契約する会社のほうで雇用していただいて、私どもの地域の観光をその旅行会社の商品に組み入れて営業していただくということで契約を間もなく行うところでございます。

やまがたアルカディア観光局は第二種の旅行業の資格を持っておりますけども、これ、国内でのいろんなところでの商品をつかって、販売はできるんですけども、海外のほうは第一種でございまして、第一種はかなりハードルが高いので、したがって、私どもで商品を直接売れないんですね。ですから、外国の旅行会社と提携して商品に組み入れていただくということなものですから、今後、まずは台湾、ことしからやっておりますが、来年は私どものほうにも東京オリパラでアフター、オリンピック・パラリンピックということで、ドイツであったり、私どもの友好都市のバードゼッキンゲン、中国の双

鴨山市、あとはリヒテンシュタイン、タンザニアとか、そういった国々の方々に来ていただく商品づくりをしてまいりますので、その商品を個人客とか小グループにも買っていただけるようにいろいろ営業努力をしていくという考えでおります。終わります。

○平 進介議長 8番、内谷邦彦議員。

○8番 内谷邦彦議員 ありがとうございます。

インバウンドに関しては、ぜひ来ていただけるような体制をやっぱり今後つくっていただかなきゃいけないと思いますし、そのためにやっぱり言葉というのが一番ひっかかってくる部分ではあると思いますので、その辺に関しても今後、対応をよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上で私の質問は終わります。ありがとうございました。

○平 進介議長 ここで暫時休憩いたします。再開は午後3時10分といたします。

午後 2時49分 休憩

午後 3時10分 再開

○平 進介議長 休憩前に復し、会議を再開いたします。

市政一般に関する質問を続行いたします。

### 鈴木富美子議員の質問

○平 進介議長 次に、順位5番、議席番号10番、鈴木富美子議員。

(10番鈴木富美子議員登壇)

○10番 鈴木富美子議員 本日最後の5番目の清和長井の鈴木富美子です。皆さんお疲れではございますが、最後までお聞き願ひしたいと思ひ